

■マーシャル諸島ってどんな場所？



■場所

ハワイから直行便で約 4 時間、太平洋の真ん中にあり、29 の環礁（環状に連なるサンゴ島）と 5 つの島からなるマーシャル諸島。太平洋に浮かぶ「真珠の首飾り」と呼ばれています。

■歴史

19 世紀末にはドイツが植民地とし、その後米国による統治を経て、1979 年に自治政府が誕生。その間の 1946 年から 67 回も行われた核実験の被害の影響は、今もなお人々の間に残っています。

■産業

ヤシ油の原料となるコプラの生産を中心とした農業、水産業、観光業。

■日本とのつながり

第一次世界大戦後には日本の委任統治が始まり、第二次世界大戦終戦まで約 25 年間続きました。日系人も多く、親日家が多い民族として知られています。「アミモノ」と日本語に由来するヤシやパンダナスの葉を編む手工芸品が伝統工芸になっています。

また、米国によって行われた 67 回の核実験のなかには、広島の 1000 倍の水爆実験も含まれ、日本の漁船も被爆し、今も多くの放射能難民がいます。

委任統治の歴史だけでなく、日本とマーシャル諸島共和国は「放射能難民」という世界の中でも稀な共通点も持っているのです。

■日本語由来のマーシャル語

アミモノ…手工芸、アメダマ…飴玉
ジョーリ…サンダル、アタケ…畑
ダイコン…大根、たくあん など



■マーシャル諸島が直面している気候変動の状況



産業革命前に比べて地球の平均気温は約 1℃上昇していますが、あと 0.5℃上昇したら平均海拔 2m のマーシャル諸島は、水没してしまうと言われています。

気候変動による国土水没の危機は決して未来の話ではなく、今もマーシャル諸島では頻繁に発生する高潮、海岸が大きく削られ、墓地や家屋が倒壊する被害が相次ぎ、海岸浸食が深刻な問題となっています。特にキングタイドと呼ばれる高潮は、本来一生に一度あるかないかでしたが、今では年に数回の頻度で発生し、その度に洪水が起こり、復旧まで子ども達が学校に通えないという事態も発生しています。この高潮で地下水に海水が浸入し、飲み水や生活用水が塩害にさらされています。

さらに干ばつの影響も深刻で、2013 年には 6 千人以上の島民が一日 1ℓ 以下の水で過ごさなければならないほどの大惨事となり、2016 年には史上最悪の干ばつが発生し、国家非常事態宣言も頻繁に発令されています。

倒壊する墓地や家屋、水浸しになった道路の修復と干ばつによる水不足…マーシャル諸島の人びとは今も気候変動の影響と闘っています。

■マーシャルの若者を環境リーダーに育てる NGO Jo-jikum の活動内容



NGO Jo-jikum は、水没の危機に直面する国の未来を担うマーシャル諸島の若者を、「気候変動の犠牲者」から「未来の変革者」へと成長させるため、①環境リーダー育成、②気候変動教育、また③万が一移住を迫られた場合に伝統文化を継承するために文化を学び直す活動をしています。主要事業の Earth Champions プログラムでは、マーシャル諸島首都の各村から、村の環境問題解決を志す 18-25 歳のリーダー候補を Earth Champion として選出。選出された若者は、各村の課題を実際に解決する 6 ヶ月のシミュレーションプログラムの中で、徹底的に課題解決法を学び

ます。この期間にプロジェクト立案から、助成金申請、コミュニティの巻き込み方から、リーダーシップやマインド形成、プロジェクト運営方法、プレゼン方法、報告書の作り方まで、国連機関との連携の中であらゆるトレーニングを行い、環境リーダーとして育成。そして最後には国際会議に彼らを送り込み、世界から学び、国の代表として意見を述べる経験を積む機会も創出しています。

■Earth Champion インタビュー

～僕たちがマーシャルの若者たちの意識を変えていく～

NGO Jo-jikum の環境リーダー育成事業「Earth Champion プログラム」に参加する青年に、なぜこのプログラムに参加したのか、参加して何が変わったのか取材しました。

AJ (Earth Champion、マーシャル諸島出身・21 歳)



「マーシャル諸島の人たちは、なぜこんなに高潮被害が頻発しているのか、その因果関係をちゃんと理解している人はほとんどいません。気候変動に関する知識もありません。

だから僕はマーシャルの若者たちの意識を高めたいと、Earth Champions に応募しました。NGO Jo-jikum の活動として、キャシーと共に気候変動問題と呼びかけた『1.5℃キャンペーン』は、島を上げて大きな動きとなり、今では多くの若者が本気で気候問題を考えるようになりました。若者たちの意識を変えるこのような活動は、今までマーシャル諸島にはありませんでした」

【団体概要】

一般社団法人アース・カンパニー

設立：2014 年 10 月

代表理事：濱川明日香

事業内容：Earth Company は「次の世代に残せる未来」を創出すべく社会変革を起こす「人」と「団体」を支援・育成するために、アジア太平洋のチェンジメーカーを支援するインパクト・ヒーロー支援事業、個人・大学・企業向けに社会企業や革新的な試みの最前線を体験していただくバリ島ソーシャル研修事業、社会変革に挑む事業や団体を対象にしたコンサルティング事業を展開しています。

URL：<http://www.earthcompany.info/>

この件に関する問い合わせ先

担当：小松紀子 TEL：03-6753-1558 Email：noriko@earthcompany.info